

INDEX

- | | | |
|--------------------------|---------------|------------------------|
| ① 巻頭言 | ⑦ 高齢者施設より | ⑳ 極楽坊あすかこども園
新園舎寄附者 |
| ② イスルさんを迎えて | ⑧ 児童施設より | ㉑ 叙勲受章を祝う |
| ④ 法人たすきリレー
極楽坊あすかこども園 | ⑩ 役員会報告 | ㉒ 表彰受賞者一覧 |
| | ⑯ 第27回法人研究発表会 | |

社会福祉法人 宝山寺福祉事業団 〒630-0257奈良県生駒市元町2-14-8桃李館内 TEL:0743-74-1172/FAX:0743-74-1911

巻頭言

「めげるな、めげないぞ」

理事長 辻村 泰範

東大寺のお水取りは三月一日から始まる。修二会の法要である。修二会は二月に修するので修二会というのだが、旧暦の二月なので今は三月になって法要が営まれるのである。正月の法要は修正会というのがこれは一月元旦に行われる。滝寺では一日午前0時を喫して愛染寮の子供たちと一緒に本堂で修正会を営んでいる。

宝山寺に正月参詣する人たちは午前0時を待つために大勢の人たちが警備員の指示に従って門前に行列を作って待つておられる。午前三時から修正会が僧侶によって営まれる。この法要に参列して私たちのお正月行事は一段落して、次は午前九時半から梅寿荘、お昼前に延寿のお年寄り一人一人にお屠蘇をお祝いして回るのが元旦の恒例の流れだ。

くる。屠蘇気分が吹っ飛ぶとはこのことだ。すぐに小さな揺れが感じられたので孫は机の下に潜り込んだが、生駒ではこの程度のことであつた。能登半島各地の惨状はその後の報道の通りである。

滝寺の法要の後、いつものようにみんなに干支の話をした。今年は辰年、絵に描かれていた恐ろしい形相の龍は暗雲や雷を伴っていることが多い。あたかも災害と共に現れるかのようなであると。しかしこの龍は開運の象徴であるとされている。

人々はこれまで幾度となく災害に直面し、とんでもない目に遭わされてきたのだ。しかしこれを乗り越え克服してきたから今私たちはここにいる。どんな困難にもめげることなく立ち向かってゆく力を持つと、あの龍は説いているのだと話したのだが実際に能登半島の人々がこのような自然の脅威に晒されるとは思ひもしなかった。

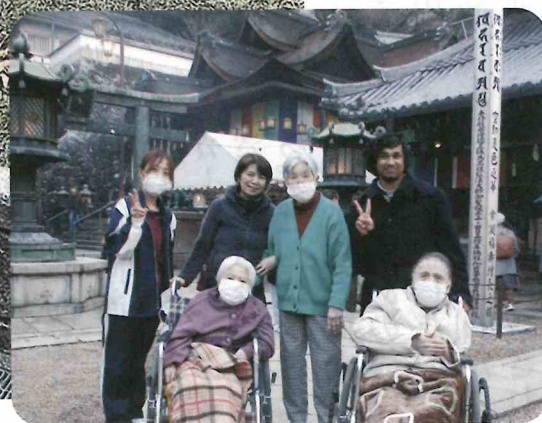
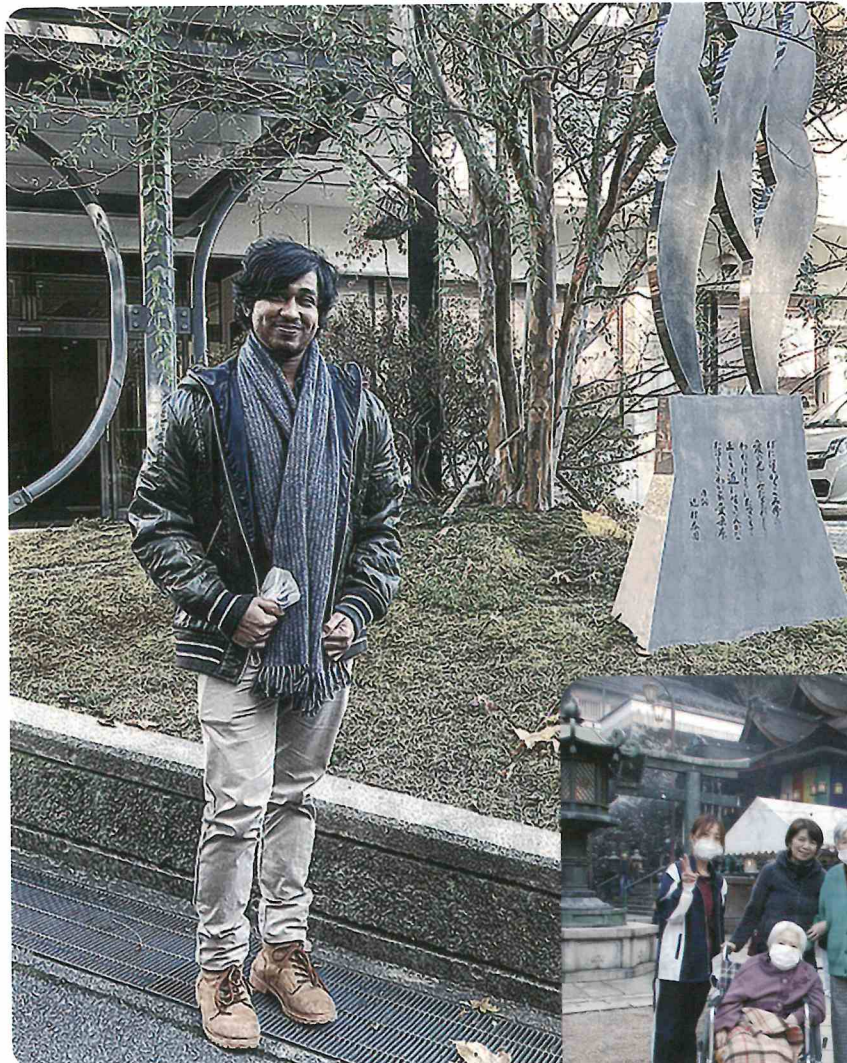
すぐにも救援に駆けつけたいと思うのは誰しもだ、だがこれまでの震災で経験しているようにこれからの復興の道のりは決して簡単ではない。息の長い支援、被災者に寄り添う支援が必要になる。我々にはそうした覚悟が求められている。開運のシンボルにするとはそのような逆説的な龍の働きを信じるからなのである。私たちが直面するのは自然災害ばかりではない、政治や経済、外交は言うに及ばず日常生活に直接関わる事業についても予期せぬ障害に出くわすこともある。そんな思いもあつて龍の話をしたのであつた。

テレビニュースが、能登半島にかかる見事な虹の映像を流していた。くじけない精神と将来への希望の象徴のような気がした。

実は、後になって虹という漢字は、龍のことであると辞書に示されていることを知った。

イスル バンダーラ さんを迎えて

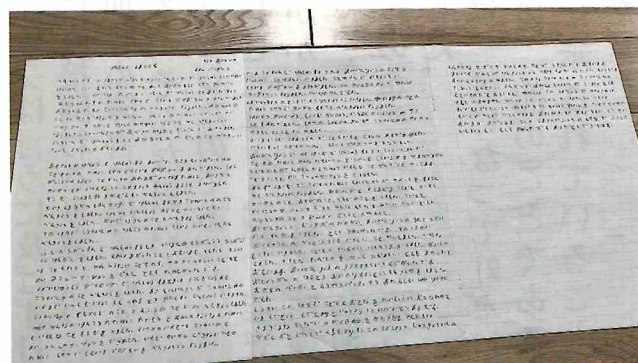
辻村 万里子



寶山寺へ初詣

全国社会福祉協議会国際社会福祉基金委員会では、毎年アジアの国で社会福祉に従事している人に、一年足らず日本の福祉施設の現場を体験し、日本の福祉関係者との交流を深める目的で研修生を受け入れています。今年度も3月に韓国、台湾、タイ、スリランカ、インドネシアから計5名の研修生が来日されました。3月から3か月半ほど東京で日本語学習し、その後近辺の施設で短期研修です。そして9月になると、5名の研修生はそれぞれ別れて4か月足らずの長期研修に入り、2月には東京で修了式をして帰国し、母国でまた社会福祉に従事するという流れになっています。

その一人スリランカのイスルさんを9月27日から1月17日まで我が法人で研修生として受け入れました。母国では、視聴覚障害者特別学校のダンスの先生で、子どもたちの生活指導、職業訓練などもしている22歳の青年です。



日本語(平かな)で書かれた研修報告



愛染寮でカレーづくり	あすなる
梅寿荘地域包括支援センター	梅寿荘にて



研修施設は、愛染寮を中心に、乳児院、こども支援センターあすなる、梅寿荘地域包括支援センター、いっぼ、極楽坊あすかこども園、梅寿荘デイセンター、デイセンター憩の家、いこまこども園、梅寿荘、いこま乳児保育園、その他県立藤の木学園でも一日お世話になりました。多岐にわたる研修先で目が回るようでしたが、どこへ行っても誰とでも笑顔で接することが出来ていたのは、とても素晴らしいことでした。乳児院の小さな子どもたちも、人見知りすることなく抱っこしてもらい、こども園では出会うと「イスルさん」と手を振ってもらっていました。高齢者の施設でも、落ち着いてかかわることが出来ていたようです。スリランカは、常夏の暑い国です。食べ物はヒリヒリするようなカレーが定番。言葉は勿論違います。平仮名は読めますが、漢字は難しい。きっと会話することも大変だろうと察しますが、一生懸命人の話に耳を傾け、応じる力に驚きました。

しかし、研修が順風満帆であったわけではありません。秋風が吹く頃になると、「寒いです！」を連発。スリランカで痛めた腰痛も伴って、研修を続けていくことが出来るのだろうかとこちらも案じた時期でした。愛染寮では無理しなくて良いと伝えた時に、イスルさんは「自分を必要としてくれると嬉しいし、応えてあげたい」と言って頑張っていたそうです。ひと回り大きくなったように感じました。食べる物も苦労しているとは感じさせないほど、何でも口にして、おせち料理、お雑煮、ペロリと完食。甘いおぜんざいは好物になったとか。

最後の研修報告会では、しっかりとした日本語で、各施設で学んだことを一つひとつ丁寧に挙げてくれました。

生駒を去る時には、みんなに見送られながら、「帰りたくない！」と涙してくれました。日本で得た経験を生かして、スリランカの社会福祉のために尽力する人材になってくれることを願っています。

極楽坊あすかこども園

3回にわたってお伝えしてきた極楽坊あすかこども園の「たすきリレー」も、今回が最終回となります。最後は、令和5年9月29日に竣工した新園舎について、写真を交えながら魅力ポイントを紹介していきます。

新園舎
魅力
ポイント

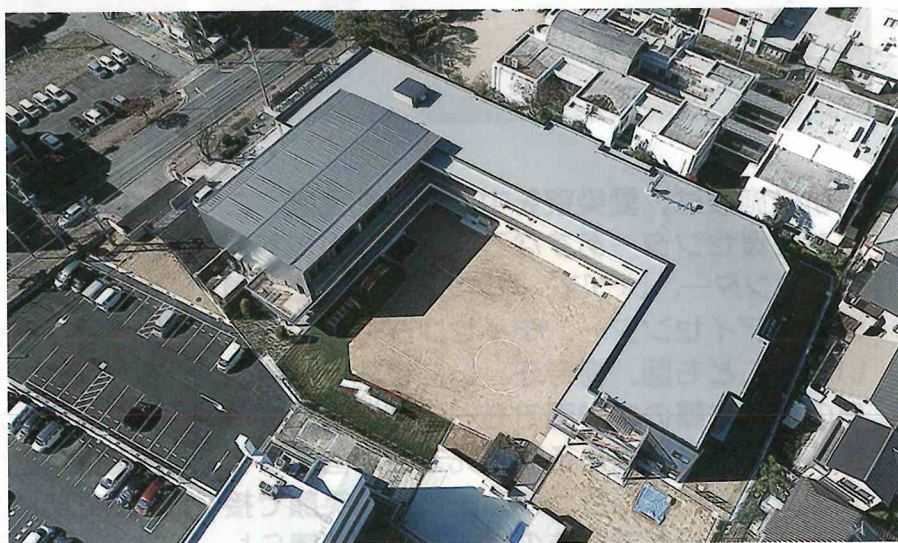


1 広くなった園舎

敷地面積はおよそ2倍となり、以前よりも広い園庭・園舎になりました。園庭を取り囲むようなコの字型の園舎で、安心して遊ぶことができます。また、児童発達支援いっぽも新園舎に併設となり、子ども・子育てのより幅広いニーズに応えていくことができるようになりました。

2 園庭直結の保育室

幼児クラス（3〜5歳児）の保育室は、全て園庭に面しており、戸外あそびをふんだんに取り入れた活動を行うことができます。また、小さい年齢の子どもたちが遊べる小園庭があり、年齢に応じた遊具が配置されています。遊具の下には、ゴムチップの入った人工芝を敷き、万が一遊具から転落した際の衝撃を和らげるよう安全対策を取っています。



3 明るく落ち着いた保育室

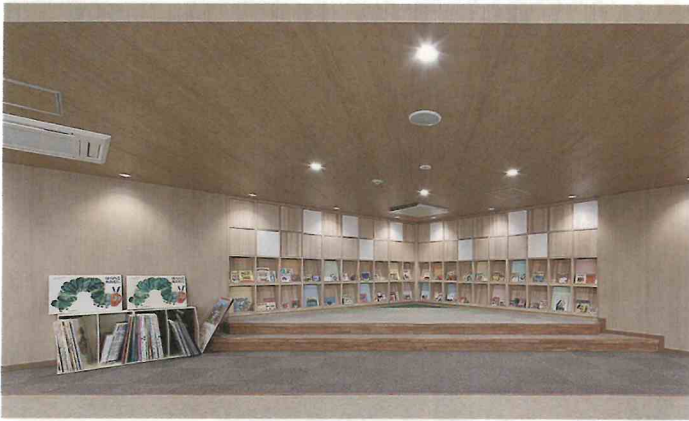
保育室は、温かみのあるウッド調で、明るくありながら落ち着いた空間になっています。ガラスは学校用強化ガラス、電灯はLEDとし、全てのドア・サッシには、指詰め防止の器具が取り付けられていて、防災・安全面への配慮も行っています。



トイレは、低年齢児は介助がしやすいように、高年齢児は個室でできるようにと、年齢に応じて作りを変え、明るくて清潔感のある空間となっています。



2F・絵本コーナー



1F・図書コーナー

4 図書・絵本コーナー

保育室のほかに、1階に幼児向けの図書コーナー、2階に乳児向けの絵本コーナーを設けました。図書コーナーは少し凹んだ空間で、子どもたちは思い思いの絵本や図鑑を手にとって読むことができます。一方、絵本コーナーは小上がりの空間になっていて、先生に絵本や紙芝居を読んでもらったり、遊んだりできるようになっています。

5 子どもたちも見渡せる給食室

給食室は、受け渡しのカウンターが大きくガラス張りになっていて、子どもたちが給食ができる様子を見ることができるようになりました。できあがった給食の配膳の受け渡しもスムーズになりました。



新園舎
魅力
ポイント



子どもたちだけでなく、職員にとってもより働きやすい環境づくりを目指して、職員室も過ごしやすく、休憩や、記録などの事務作業をしやすいような環境を整えています。

6 働きやすい職場を目指した職員室



令和5年10月19日、新園舎への引っ越しが終わり、園内で子どもたち・保護者の皆様とお祝いの会を開きました。園庭から飛ばした風船は、岐阜県・愛知県や遠くは群馬県まで届き、たくさんのお手紙をいただきました。

園舎での生活にもすっかり慣れ、子どもたちも伸び伸びと過ごしています。皆さまもお近くにお越しの際はぜひ、見学にお越し下さい！

高齢者施設より

7p

■ 老人福祉施設梅寿荘

9p

■ 梅寿荘デイセンター/デイセンター憩の家

■ 生駒市梅寿荘地域包括支援センター

■ 特別養護老人ホームあくなみ苑

8p

■ はあとぼーと延寿

■ 梅寿荘居宅介護支援センター

10p

■ はあとぼーと梅寿荘

■ デイセンター寿楽

新年を迎えて

今年もまた新しい一年が始まりました。私は年を重ねるにつれて、段々と年末年始だという感覚が薄れていくように感じています。しかし、自身の母親がおせち料理の準備をしたり、妻と子供たちがそれを手伝ったりする様子を見ると、やはり「お正月」がやって来たなと思うような気がします。

ここ何年間か私はお正月に出勤していることも多いのですが、一緒に過ごしているご利用者にとってもお正月はやはり特別な感じなのだと思います。梅寿荘は元旦にお屠蘇があり、鯛も食卓に上がります。昨年も健やかに過ごせた感謝や、新年の平安への祈り、色々な想いを噛み締めながら味わっていただけただけではないでしょうか。私にとっては、ご利用者が心穏やかに健康に過ごしていただくことが一番です。本年も怪我や病気に気を付けて、安全に毎日を送っていただけるよう、努力したいと思います。また、スタッフにつきましても、インフルエンザや新型コロナウイルスに気を付け、明るく安全に出勤してもらえると嬉しいです。

老人福祉施設 梅寿荘

フロア主任 杉田 和則

今年の干支は「辰」です。龍は古来より中国では力の象徴とされ、たいへん縁起の良い生き物とされていますね。辰年は大きな変化が起きることが多い年とも言われているそうです。ご利用者にとって良い変化がありますように幸多き一年となりますようお祈りいたします。



お屠蘇のお祝い

皆で同じケアを目指すために

あけましておめでとうございます。

コロナ感染症がら類になり世の中がようやく平常を取り戻しました。令和5年度からは自粛していた毎月の勉強会を再開し、ヘルパーそれぞれがケアに関して、抱えている悩みや不安を聞き取り話し合うことで、皆が同じケアをすることが出来ています。

しかし、感染症の猛威は依然として終息せず、インフルエンザも勢力を強めるという状況が現在も続いています。訪問介護の職員として、私たちができることは「広げない」「感染しない」

はあとぼーと延寿

主任サービス提供者 玉利 美保

です。そのために基本となる手指消毒・マスクの着用は仕事場以外でも努力は必要だと思っています。

また、年明け早々の令和6年能登半島地震について、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

いつ遭遇するかわからない災害。日々皆と話し合い準備し、緊急事態に対しても慌てず行動に移し、一致団結してケアに取り組んで行けるようがんばりたいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年を迎え思うこと

新しい年を迎え、さあ今年も頑張ろう!と思った矢先に石川県が震源地の地震が発生し大きな災害が起こりました。お正月気分から覚めた方も多かったと思います。

1月に開催された法人研究発表会で、延寿居宅と合同でBCPについて発表をさせていただいたこともあり、もし生駒の地域で起こっていたら自分はどうしているだろう。何ができるだろうかと考えながら状況を見守っていました。いつ起こるか分からない災害にどう準備をしておけばよいのか、研究発表での課題でもありました。

テレビ画面には、高齢者を背負いながら避難される人の姿や、「近くの方と声掛け合い避難してください」と何度もアナウンスが聞こえてきました。その光景を見ながら「遠くの親戚より近くの他人」が大事だと実感しました。高齢者の方は、外に出る機会が少なくなり地域との

梅寿荘居宅介護支援センター

センター長 斉藤 洋子

繋がりが希薄になりやすいです。私たちケアマネージャーの役割は、利用者さんと地域を繋げること。それが有事の時に利用者を守ることになると身に染みて考えられました。

今、国や市町村も地域BCP作成に取り組んでいます。高齢者を支える居宅事業所として関係機関と協力しながら共に取り組んで行こうと思います。



合同会議

求められていること

梅寿荘デイセンター/デイセンター憩の家

センター長 伊藤 智宣

今年の4月には、介護保険法が改正あります。昨今の物価高騰等があり、事業所にとって良い方向での改正になればと、願っています。願うばかりでなく、改正までに様々な情報を得て、事業所として色々な取り組みや改善を図り、多くの加算を算定し、安定した事業所運営を務めていきたいと思っています。

改正がある年のこの時期は、改正のことやどのようにしたら加算を算定できるのかを考えてばかりになります。しかし、私たちが、一番に考えないといけないのは、利用者の生活を支えるサービス提供だと思っています。今の

サービス内容や自分たちの力量に満足せず、まだまだより良い方法がある、まだまだ伸び代があると、考えることが必要です。そのために新たな事業所の特色を考える前に、事業所というチーム内の情報共有、コミュニケーション、報告連絡相談を今以上に大切し、充実していかないといけないです。これが充実すれば、利用者から求められていること、地域から求められていることを把握でき、それに応じたサービス提供ができるのだと思っています。これを繰り返し、泥臭く愚直に取り組んでいきたいです。

新しい出会いの年に

生駒市梅寿荘地域包括支援センター

センター長 岩井 香奈子

昨年後半から、徐々に人との交流の機会が増えてきました。人との距離を取ることに違和感を覚えながらもそうせざるをえない、そんな時期が長く続きました。

新しい年が明け、いよいよ出会いの時がやってきたと嬉しく思います。私たちのセンター職員全員が出会う人の数は一年を通じていったいどれくらいになるでしょう。ご利用者、ご家族はもとより地域の集会に出向いた折に参加されている住民やボランティア、民生委員や自治会活動をされている方々、また小学校や商業施設、

各種サービス事業所、役所、病院、公共施設など数え切れないほどの方々との出会いがあります。

年明け早々に災害に見舞われ、つらい思いをしておられる被災地の報道を知るたびに、地域で助け合うこと、支え合うことがどれだけ大切で心強いことかと、今更ながらに深く思い知ります。多くの人との関わりに感謝し、やらなければならない仕事の重要性を感じながら、職員一同気持ちを新たにまた一年、地域包括支援センターの業務に取り組んでいきます。

職員が安心して働ける職場づくり

特別養護老人ホームあくなみ苑

介護主任 松本 直大

新年明けましておめでとうございます。昨年は新年早々、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、その後も職員の体調不良が起きるなど、『病』がつかまとう一年となりました。しかし、そのような状況の中でも職員の連帯感が芽生え、職員皆で、限られた人員でもシフトを回すことが出来るようなタイムスケジュールの変更などの工夫を凝らし、乗り越えられたことなど、悪いことばかりではありませんでした。新人も期待以上に成長してくれ、また信頼できる職員に恵まれていると実感する年にもなりました。

より良いサービスを提供するには『人』が全てだと思っています。職員が心身ともに健康でなければ、良いサービスを提供することができ

ません。介護職員の高齢化(※1)も問題となっていますが、あくなみ苑でも例外ではありません。身体介護を行う特養では、熱意だけでは決して乗り切れません。介護の質を落とさずに職員の身体的な負荷を軽減するためには、積極的なICTの活用、介護ロボットなどの導入も必要であると考えますが、限られた人員でも対応できるよう介護内容を見直すことも大切であります。介護人材が不足する昨今、多様な人材が活躍でき、安心して働くことのできる職場をつくっていききたいと思います。本年もどうぞよろしくお祈りします。

(※1)令和4年の厚生労働省の調査では、介護労働者の平均年齢は50.0歳、介護職員が47.3歳で、10年前の平成25年ではそれぞれ45.6歳、42.3歳となっています。

信頼されるヘルパーステーションを目指して はあとぼーと梅寿荘

主任 金田 智子

私たちヘルパーは、様々なご利用者のお宅を訪問しています。最近、家族と別所帯のひとり暮らしの高齢者や、日中独居の方の訪問が増えてきました。

先日、訪問看護さんの研修を受けました。訪問看護さんが、初めて訪問する時は、まずご家族の意向や介護の方法を見せて頂き、押しつけにならないような声掛けをしているとお聞きしました。家族の方とより良い関係が保たれるよう支援するという事は訪問介護と共通することだと思いました。

遠く離れて暮らすご家族が心配ないように、ご利用者の生活に寄り添い支援して、異変や

問題が発生したら速やかに連絡をして安心して頂くようにしています。私たちヘルパーは、ご利用者はもちろん介護されているご家族とも信頼関係が築けるよう、誠心誠意お手伝いしていきます。また、ケアマネージャーから、急遽退院が決まり当日からの訪問、年末に新規の入浴介助、発熱などによる病院受診の付き添い依頼などが入ります。頼りにされている事業所であると実感しています。ご利用者、ご家族だけに限らず関わる多職種の方との信頼関係も大切にして「任せて安心」と思ってもらえるよう頑張っていこうと思います。

地の利を活かして

デイサービスは地域との結びつきが重要であり、地元の方々の理解や支援により運営が成り立っています。デイセンター寿楽は住宅街に位置し、スーパーやコンビニ、美しい桜の咲く竜田川が近隣にあり、ご利用者の自立支援に向けたサポートにこれらを有効に活用できる環境にあります。

しかしながら、近年は新型コロナウイルスの影響で地域の方やボランティアの方を施設に招くことが難しく、地域との距離感が遠くなっていました。去年からは状況が徐々に緩和され、年末のもちつきでは施設の外で行っていると、地域の方から自発的に声をかけていただき、参加される場面もありました。これを機に、地の利を最大限に生かし、地域社会との関わり

デイセンター寿楽

センター長 井上 貴至

を強くして前進していきます。辰年は勇気と活力に満ち、チャレンジ精神が芽生えとされています。寿楽もこのエネルギッシュな年にふさわしい一年を目指していきます。



児童施設より

11p ■ 極楽坊あすかこども園

13p ■ 児童発達支援いつぱ
■ 奈良県発達障害者支援センターでいあー

15p ■ 生活支援センターあすなろ

17p ■ いこま乳児院

12p

■ 平城児童センター
■ 愛染寮

14p

■ あすかの保育園
■ いこまこども園

16p

■ いこま乳児保育園

嬉しい収穫と実り

あけましておめでとうございます。昨年は皆さまのご協力とご支援のお陰様で無事に新園舎での生活を始める事が出来ましたことに感謝申し上げます。

新園舎ではいろいろな出来事や経験が出来ます。その一つが新しく出来た菜園です。しかし新菜園は囲いはあるものの、大きな石がゴロゴロ入っていて、土も野菜を植えるには決して適した土とはいえないものでした。そんな菜園に手を伸ばし下さったのが、通園している子どもの祖父の方でした。農業歴は長くプロの方です。暑い中汗をかきながら、石を取り出し、品質の良い土に入れ替えてくださいました。野菜の為の肥料や糞殻も土に混ぜて下さり、立派に畑のうねを作ってくださいました。また育てやすい野菜も教えていただき、苗も用意してくださいました。そして、植え方も教わり、子ども達とチンゲン菜、水菜、玉ねぎを植えました。植えた苗は小さく、細かったです。土にしっかりと根を張り、グングン成長する姿を見せてくれました。その成長を見るのも子ども達との楽しみの一つでした。青々と立派に成長したチンゲン菜と水菜を子ども達と収穫し、給食室で調理してもらい、美味しくいただきました。

極楽坊あすかこども園

主幹保育教諭 田中 明美

自分達で植え、成長を楽しみ収穫した野菜は大人気でした。

栄養たっぷりの良質な土には立派な野菜が育ちました。私たちも保育のプロとして、人間の根に当たるこの時期に、沢山の愛情を注ぎ、より良い環境を考えて、子ども達の成長を共に喜び合えるように今年一年も頑張っていきたいと思えます。

今年は地震が起こり、今なお能登地方の方々は大変な思いをされています。毎日のニュースを見るたびに心が痛くなります。一日も早く復興をされることをお祈りしたいです。



大きくて柔らかいチンゲンサイが採れたよ

こどもDOまんなか の居場所に

センターでは毎年子どもたちの意見を聴いて野外たんけん、野外自炊、凧作り、田植え、稲刈り、餅つき、曾爾高原キャンプなど様々な体験・創作活動などを行っています。

令和5年4月にこども家庭庁が発足し「こどもの居場所に関する考え方について」では「全てのこどもが、安全で安心して過ごせる居場所を持ち、多様な体験活動や外遊びの機会に接することが必要」である。また居場所と感ずるかどうかは、こども本人が決めることであり、こどもの視点に立ち、こどもの声を聴きながら進めることが必要とされています。

多様な居場所の一つとして児童館などの資源を柔軟に活用していくことが期待されています。

平城児童センター

センター長 徂徠 おさむ

センターではこれからもこどもの声を聴くことを大切にしながら子どもの笑顔があふれ、夢中になって遊べる児童館をこどもと共につくっていきたくと考えています。



今年も元気に明るく過ごせますように。

愛染寮

主任保育士 中尾 智子

2024年1月1日午前0時、下は2歳の子から上は卒業したお兄ちゃんお姉ちゃんまで、一同揃って大乘瀧寺で新年のお参りをしました。ご住職のお話の中で「瀧寺の本当の名前は、清瀧山大乗瀧寺と言います。サンズイを取ると青い龍となり四神の一つ青龍となります。皆が元気に上り龍の様に過ごせます様に。」とありました。お参りの後、みんなそれぞれに「あけましておめでとうございます。」とあいさつを交わし合う笑顔が何よりです。お節でお祝いをしてその後、書初めで思いを書き上げてさらにビンゴ大会、翌2日には宝山寺に初詣に行くことができました。元日から続けて大きな災害や事故があった中、私達がいつものようにお正月を迎えることができたことは、感謝しかありません。

宝山寺では、数十年ぶりに懐かしい卒業生に会うこともできましたし、夕方からのあすなろ会すき焼きパーティーには、本当にたくさんの卒業生が家族を連れて帰って来てくれました。自分たちがいた時の思い出を一緒に話したり、子どもを抱っこしたりとお正月から沢山嬉しいことがあり

ました。いつものことがいつものように出来ることって、つくづく幸せなんですね。それが決して当たり前ではないことをかみしめながら、被災された方々が一日も早くいつもの暮らしに戻れますようにお祈り申し上げます。



愛染寮あすなろ会恒例すきパー!

うそもんと、ほんまもん

昨年の10月に「極楽坊あすかこども園」の新園舎に引っ越しをして、4ヶ月近く。子ども達も落ち着いて楽しく過ごしてくれていて、ホッとしています。こども園との交流も少しずつ始まり(いっぽの事務所にはこども園の子ども達と保育士の「おしゃべりの窓」があります!)、これからの「いっぽ」がどのような役割を果たしていくべきか?を模索する日々です。児童発達支援の事業所の在り方が多種多様になってきて、利用する保護者は多岐に渡って選べる時代になってきました。でも保護者と子どものニーズが合致してないのでは?と感じる事もあります。益々、私たちの事業所の在り方をしっかり確立していかなければならないと思っています。その為にはやはり、初心に戻り、法人の理念や、事業所の支援目標という柱を大切にしていくことだと考えています。ただ掲げ

児童発達支援いっぽ

児童発達支援管理責任者 長野 智子

ているだけで実現のしない「うそもん」ではなく、実現していく「ほんまもん」の事業所であること。時代の流れが変化してきて、「ほんまもん」は残っていく。と信じているので、今年も職員みんなで、一步一步を大切に進んでいきたいです。



新たな年を迎えて

奈良県発達障害者支援センターでいあー

センター長 森山 貴司

昨年はでいあーの運営を揺るがす消費税の問題が出てきました。それはでいあーなど委託された相談支援事業が、社会福祉事業に該当しないとの通達が出されて課税の対象となるとのことでした。いろいろと検討した結果、状況は厳しいですがなんとか来年度は問題を乗り越えていくめどが見つかることになりそうです。今後事業内容を精査して新たなスタートを切っていきたいと考えています。

事業の中心は相談支援ですが市町村の窓口へ一次支援を委ねて、でいあーは二次支援に移行していくように取り組んでいます。でいあーへの相談は内容がやや困難な相談が増えており対応に時間を割かざるをえなくなっています。また、昨年より3つの市町で取り組んできました地域支援体制づくりの支援システムであるQ-SACCSを今年はさらに拡げて市町村の支援を充実させていきたいと考えています。

それ以外の事業として普及啓発がありますが、コロナも一段落して講演会や研修会の持ち方も変わりつつあります。以前は対面だけで実施していましたが、対面に加えてオンラインやハイブリッドなど開催方法や対象者に合わせて柔軟に対応しています。またペアレントトレーニングやメンター活動等の親の研修とWITH・ならサタ、パートナーの会といった当事者の活動も今年は拡充させていく予定です。



発達障害講演会より

お正月

園でお正月の準備をする頃に、丁度園児が定期購読している絵本「おせち」がふと目に留まりました。読んでみるとリアリティがある素敵な絵と、料理の一つひとつの意味が分かりやすく書いてありとても感銘を受けたと共に、私も知り得ないこともあり勉強不足だなと感じました。近年おせち料理を作って食べることも少なくなっているなど感じていたので、近くにいた職員にも「読んでみて」と手渡すと、「なるほど」「こんな意味があるんだ」ということを改めて確認する良い機会となったようでした。

園児たちにも早速この絵本を読み聞かせ、毎年飾っている布で作ったおせち料理やしめ縄、鏡餅もそれぞれの意味を伝えました。そして子ども達が健やかに過ごせるようにと願いを込めて飾りつけをしました。

あすかの保育園

園長 小林 美香

日本には伝統文化がたくさんありますが、時代の流れや生活のスタイルの変化とともに意識しないとだんだん薄れていく風潮があります。今回の「お正月」についてもそうですが、私たち職員が正しく理解したうえで、子ども達に伝えていくことが日本の文化の継承に繋がると改めて感じました。園では様々な行事やイベントがあります。その意味を意識しながら伝えていけるような保育を行っていきたいと思います。



絵本「おせち」

園舎外装をリニューアルしました

昨年11月より園舎の全面塗装を行いました。現在の園舎は竣工から40年ほど経過し、当初、12年前、今回と3度目の塗装となり、建物にとっても重要なメンテナンスです。これまでの塗装の色や模様は、建物の特徴や雰囲気を引き出し、その色調はそれぞれの時代のシンボルである、保育施設として親しまれてきました。1月中旬足場が解体されると、アースカラーを基調とした大きな園舎は、明るく優しく現れました。築年数から園舎内は老朽化による修繕が増加していますが、先人の思いの詰まった堂々とした園舎です。これからも大事に大切にしてその価値も高めていきたいと思ひます。

また、6月1日には創立70周年を迎えます。長い歴史の中で、こども園は常に地域社会とともに成長し、多くの子どもたちの健やかな成長を支える場所となりました。この3月には園舎北側に

いこまこども園

園長 米田 恵美子

北新町自治会館も開館し、第2園庭を一部、地域と共有します。正月の能登半島地震を目の当たりにして、保護者や地域の方々との連携を深め、安心して楽しい場所であるとともに、改めて地域のこども園としての役割を考える年明けでありました。



リニューアルした園舎

ホームページで元気な子ども達の 笑顔を発信しています！

皆さんは「児童発達支援センター」って、どんな施設かご存じですか？

発達の遅れが気になったり、障がいのある子ども達（就学前）の通所施設なのですが、どんな子ども達が通っているか想像できますか？

もしかすると、「元気のない子ども達が行く病院みたいなところ？」という人もいるかもしれません。

いえいえ、「児童発達支援センター」は元気な子ども達がいっぱい通う児童福祉施設です。

生駒市にある、児童発達支援センター「こども支援センターあすなろ」は、子ども達の人格と個性を大切に、遊びや運動を楽しみ、生活スキルを身につける中で、「わかった！ できる！」という自信や意欲を育てています。また、保護者の方のいろんな相談を受け支援させて頂いています。

子ども達や保護者の皆さん、職員の笑顔にあふれた、明るく活気に満ちた施設なのです。

そんな「あすなろ」のホームページを昨年リニューアルしました。旧ホームページを作ったのがかなり以前で、「あすなろ」が実際に行っている取り組みが伝わりにくいコンテンツだったためです。リニューアル作業の中で、「あすなろに来てくれている子ども達の素晴らしい笑顔に掲載したい」という思いが高まってきました。なぜなら、子ども達の元気な笑顔を発信しないと、「あすなろ」のことを正確にわかってもらえないのではないかと感じたからです。

生活支援センターあすなろ

センター長 廣岡 幸夫

ですが、現代は個人情報の扱いが難しい時代です。保護者の方の了解をもらうことは困難だろうという意見もありました。そこで掲載する写真の保護者の皆さんに趣旨を説明し、ご意見をうかがうことにしました。すると、ほとんどの保護者の方から「使ってもらっていいですよ！」と快諾を頂きました。中には「大きく載せてやって下さい」というお母さんもおられました。

もしかすると、保護者の皆さんも、わが子の素晴らしい笑顔の世界に発信したいと思って下さったのかもしれませんが。

お時間のある方は、当センターのホームページ (<https://kodomo-asunaro.com>) を是非ご覧ください。



01 個別
ホー

02

03

04

05 家庭
療育

ホームページより



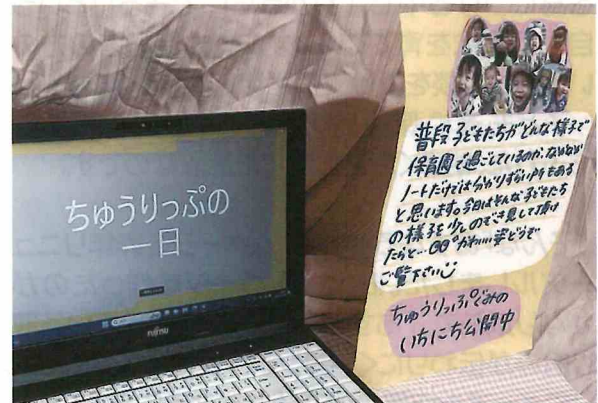
昨年12月9日土曜日に、「みんなのフェスティバル」(作品展)を行いました。3年前から2月から12月に変更して作品を通して子どもたちの成長を見ていただける行事になっており、今回はご家族の制限もなく行うことができました。保育士も運動会後から少しずつ企画、準備を進め、保護者の方々にお子さんの成長をどう伝えていこうか試行錯誤していました。その中で0歳児の担任が食事の様子を撮り、保護者の方に見て頂きたいという初めての企画を提案してくれました。遊びの場面の写真はあっても、食事の場面は忙しくてなかなか様子をお伝え出来ないの、食事の時間に第三者が撮影にいき、食べているところを何回か撮影しました。改めて撮影したのを見ると、子どもの一人一人の食べる姿に違いがあることがよくわかりました。保護者の方々

にも保育園の様子を知ってもらえる良い機会になりました。動画だけではなく、その他にも一人一人の子どもたちの今の成長がわかる作品や普段の生活の写真なども展示していました。今までの作品に加えて、動画を取り入れた新しい試みが上手く保護者の方々のニーズに合っていたことは嬉しいことでした。

今年は「甲辰(きのえたつ)」という干支で何か新しいことを始めるには良い年と言われています。今回の作品展のように、子どもたちや保護者の方々のニーズに合った新しいものを作り出していくこともチャレンジしていければと思います。能登半島地震で被災された方々の日常が早く戻って来られますようにお祈りしながら、この当たり前の日常を一日一日大切に過ごしていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い致します。



初めてのお絵描き



食事の様子

令和5年度 法人役員会等報告 (令和5年10月～令和6年1月)

【第三回文書理事会】 令和5年10月20日

議案第1号 極楽坊あすかこども園の旧園舎を解体撤去する件

【第四回文書理事会】 令和5年10月23日

議案第1号 極楽坊あすかこども園の旧園舎を解体撤去し基本財産を処分することについて承認を求めることについて同意を求めると

議案第2号 評議員会招集手続きの省略並びに招集議決について同意をもとめること

議案第3号 評議員会議案を極楽坊あすかこども園旧園舎解体撤去工事に伴う基本財産処分に關する承認を求めると

【評議員会文書決議】 令和5年10月23日

第1号議案 極楽坊あすかこども園の旧園舎を解体撤去し基本財産を処分する件

12月24日、玄関のチャイムが鳴り、ドアを開けると、「今年も来たよ」とかわいい3人のお子様サンタさんの姿が。それぞれに子ども達へお菓子の入った紙袋やオムツ、職員へお菓子の入った袋を持ってきてくれました。25日にも、サンタさんの帽子をかぶった少し大きいお兄ちゃんが「僕が選んだおもちゃだよ。職員さんにはお手紙を書いてきたよ。」と来てくれました。皆さん毎年来院してくださっています。他にも連日、郵送でプレゼントを届けてくださったり、サンタの格好をしてプレゼントを届けに来てくださる方がいたりし、子どもたちは「サンタさんが来た」と大喜びでした。職員へのねぎらいや励ましのお手紙も添えてくださることもあり、感謝の気持ちでいっぱいです。



当院では、昨年11月よりAmazonの乳児院支援プログラムに参加しています。ホームページ上に欲しいもののリストを作成し、賛同いただいた方より、2人乗りバギーや靴、オムツやおしりふき等、沢山の寄付を頂いています。

また、奈良県共同募金会様より絵本や絵本棚を購入するための助成金を、篠原欣子記念財団様より避難車を購入するための助成金を頂く予定になっています。

プライバシーの関係上、ホームページ上で笑顔の子どもたちの写真を掲載することはできませんが、たくさんの方々の支えがあって楽しいお正月を迎えることができました。一緒に遊びながら、物を大切にすることも子どもたちに伝えていこうと思っています。



【第五回 理事会】 令和5年11月22日 桃李館研修室

- 第1号議案 令和5年度上半期事業報告及び今後の事業計画について
- 第2号議案 令和5年度第一次資金収支補正予算案の承認を求める件
- 第3号議案 理事長並びに業務執行理事の職務執行状況報告の件
- 第4号議案 旧園舎解体工事入札結果について承認を求める件
- 第5号議案 極楽坊あすかこども園並びにいっぼの新園舎移転にかかる定款変更の承認について
- 第6号議案 極楽坊あすかこども園の定員変更について
- 第7号議案 臨時評議員会を招集する件について

【臨時評議員会】 令和5年11月27日 極楽坊あすかこども園会議室

- 第1号議案 極楽坊あすかこども園並びにいっぼの新園舎移転にかかる定款変更の承認について

令和6年1月28日(日)生駒市コミュニティセンター文化ホールにて、第27回法人研究発表会を開催しました。今年度は法人高齢者部門で在宅生活の支援に関連する取り組みを中心に、大会テーマを「暮らしを支える支援」～様々な生活課題を抱える人々に寄り添う～として、ショートステイ、居宅介護支援事業所、デイサービスの3つの分野からの発表がありました。

生駒市梅寿荘地域包括支援センター 岩井 香奈子



辻村理事長 挨拶

ポスターセッションプレビュー

福祉サービス向上に向けた日頃の実践の成果

組織力アップ、施設改善、業務改善、サービス改善の4分野から選択し、福祉サービス向上に向けた日頃の実践の成果をポスター発表にエントリーした14発表のプレビュー（口頭発表）と、同時に会場ではポスター掲示を行いました。



各施設のポスター掲示

記念講演

いつも笑顔を大切に

健康運動指導士・大谷恵子さん



大谷 恵子氏

健康運動指導士の大谷恵子さんより、おとなも子どもも体と心を元気に保つためにはいつも笑顔を大切に、そしてその場に集まった人同士が自然に支え合うことができれば本当の笑顔になれることをご講義いただき、また実際に地域や福祉の現場で活用できるよう、体操や手遊びを会場の皆様も参加型で会場一体となり発信していただきました。

コロナ禍で様々な制限がありここ数年研究発表会も試行錯誤で実施して参りましたが、今回本格的に参集型での研究発表会が開催できたことは、なにより法人各施設にとって大きな喜びであったに違いありません。また今回得られた経験や課題が、暮らしを支える支援に生かされ今後につなげていくことと思います。

開催にあたり、ご支援ご協力いただきました皆様には厚く御礼を申し上げます。来年度は児童部門の発表の予定です。

第27回 法人研究発表会

大会テーマ「暮らしを支える支援」

～様々な生活課題を抱える人々に寄り添う～



会場も盛り上がりました。



発表 1 「在宅生活における排泄支援」

～ショートステイでの
排便コントロールの取り組み～

ショートステイでの排便コントロールの取り組みについてでした。ショートステイご利用者に対して施設内の排泄委員会で検討し慢性的な便秘に困る利用者の不快感軽減と、在宅での排泄介助の家族負担を軽減できればという動機からショート利用時と在宅時の連携を8カ月に渡りデータ観察を行い在宅生活の継続を図る取り組みについての発表でした。

発表 2 「居宅介護支援事業所におけるBCPの取り組みについて」

～社会に繋がる安心感を目指して～

法人内居宅介護支援事業所2か所合同で検討したBCPの取り組みについての発表でした。実際の災害や緊急事態が発生した時に、現状を把握しご利用者・ご家族の安全を守り、早期に在宅生活に戻ることができるようケアマネジャーとして何ができるのか、情報を交換しながら検討した内容についての報告でした。

発表 3 「サービスマナー・行動指針の実践」

～接客マナー・ホスピタリティの向上～

法人内4か所のデイセンターが2018年より継続して取り組んでいるサービスマナー向上についての活動報告と、「地域から選ばれるセンター」を目指し、社会情勢を視野に置きながら質の高いサービスマナーやホスピタリティを充実させるために、サービスマナー行動指針や5か条を作成し、その実践についての発表でした。



植田 誠氏

3つの発表に対しての講評は社会福祉法人やすらぎ会植田理事長より、発表者それぞれに舞台上で和やかな雰囲気の中、活動を継続することの大切さや、今後取り組みを進めて行く上での課題についてなど多面的に示唆をいただきました。

極楽坊あすかこども園新園舎寄附者御芳名

(敬称略 順不同)

令和4年
有限会社 テイク
竹内 茂
速水 寿夫
高田 裕介

令和5年5月
細田 美江

令和5年6月
末松 保喜
小野 擴男
谷村 多香
田口 扶紀
森岡 正宏
西本 節男
張 斌
河合 恒彦
元町2丁目自治会
田中 佐登志
医療法人 矢追医院
理事長 矢追公一
西村 高司
野田 明巳
豊田 敏雄
東浦 正也
岩本 登美子
難波 俊成
丸尾 隆雄
日比 孝三

清水 益治
中尾 治子
久門 綾子
木村 陽一
加藤 廣子
誓願寺 廣瀬隆慶
住職
谷口 誠
岩井 香奈子

令和5年7月
小中 章義
阿部 泰士
熊抱 弘文
広岡 孝雄
松井 賀世子
かみむら米穀店
松岡 桂子
國原 智恵
跡部 正夫
大下 大圓
あさひ力メラ
内田 羨也
秋國 修一
野筋 壽一
矢澤 和子
米田 恵美子
東田 武志
家治 圭子
本田 義純

社会福祉法人 飛鳥学院
理事長 河村 喜太郎
岡崎真理
税理士法人 谷野会計
草場 暁美
法華寺 樋口 教香
門跡 樋口 教香
原田 洋子
栗根 爽
森本 公子
長弓寺薬師院
山本 昇
速水 寿夫
坪村 達之
中山 紀代子
中山 まり
富和 清隆
小山株式会社
小山 智士
松村 善子
吉村 智恵
酒井 照美
西野 寛
中山 太郎
窪田 とき子
安井 宏一
安井 純子
宮本 隆雄・和子
後藤 静夫
春鹿会 有志一同
芳野 忠明
杉原加奈子

令和5年8月
石渡 恒之
社会福祉法人
近畿福音ルーテル福祉会
砂川 晋治
秋吉 美由紀
藏之上 潔
鹿野 新谷 武史
代表取締役

中村 忠吉
今中 しげ子
社会福祉法人きずな
弥生保育園 田中 聡
大食産業株式会社
代表取締役 井上康則
有限会社 住山電気
住山 茂
大成 弘晃
中西 保章
西村 泰宏
植田 誠

令和5年9月
森建設株式会社
代表取締役 森 吉三郎
鈴木 博人
辻村 泰範
岩井 宏彦
辻村 万里子
辻村 ジョイール
代表 豊田 剛
富森 幸昭
粉源 岡野 英幸
吉川 二野
鈴木 陽之
中江 大翔
山田 めぐみ
藪田 佳那・慧太・幸樹

須古井 修平
春奈・愛奈

森嶋 泰善
辻村 泰道
辻村 幸榮
中庄谷 幸榮
魚谷 奈央子
野崎 尚利子
豊田 嘉代子
清水 久美子
中西 久美子
西浦 聡美
上竹 一輝
すしや 忠兵衛
石川 美紗
矢倉 青空
黒川 久江
田村 幸真
箱井 佳子
谷山 知裕
西村 忠子
高山 千工子
奈良保健衛生社
中西 和子
井上 太
白石 望
初村 武寛
井久保 悟志
中村 雅之
濱田 早紀
吉岡 直哉
株式会社 堀川工務店
久本 奈々
永松 友加
宮里 勇毅
堀本 正人
山本 春香
三家 京子
矢島 巧翔

令和5年10月
田将章
中井鉄丈
中井咲地
福井日葵
藤野真一
藤野雄二
秋永敏二
川村昌弘
増田英幸
厚見容子
宇陀胡々美
小陀美香
伊吹昌代
いこども園交友会
伊藤仁美
仲井史佳
上村洋子
齊藤洋子
廣岡幸夫
中井加苗
佐加苗
佐伯智子
樋高知子
荒木綾子
谷口圭子
渡邊圭子
谷本葉子
荒本妙子
荒町寛太郎

引原陽一郎
日吉雅子
須藤哲乘
宮本光弘
山田武弘
奥野信亮
田口扶紀
恵愛福祉事業団
井松村賢澄
井尾博子
莊厳浄土寺
河原暢隆
堂園禮子
中園幸司
村上礼子
植村幸夫
幸田好史
日野紀代
いこま乳児院
愛染寮一同
玉田周平
菅尾明史
緒方優子
井元久美子
寺嶋晴香
中尾智子
港本真知子
山本亜由美
高橋真由美
中井桂子
山口悟里
梅寿荘
辻林万希
小村正慈
辻村泰聡
辻村恵理
辻村郁愛
辻村泰隆
尾植初美

中村好花
中村琉人
中村忠男
延寿史彦
松久史彦
前田敦輝
前田一光
島崎貴行
林真子
小牧芽以
奥田皓喜
伊藤瑠花
福本士恩
宮本陽健
宮本慶尚
杉本慶尚
新谷空零
森村華羽
中野耕大
西野まゆみ
中村宗司
キムラエピアニア
三木智恵
木村ゆかり
友國和之
林田左子
西山直子
山角由紀
和田恵美子

株式会社教育施設研究所
橋雅之
齋藤達也
香川悠佳
村田喜久代
和田晋一
和田拓也
和田明美
奥山香織
西山美幸
山久真智子
松本恵子
杉本恵子
中本恵子
黒田智恵子
福本美希
前田紀美子
丸山万智子
田中一嘉
仔鹿園有志一同
藤岡未央
森山貴司
岸本真奈美
小畑真志
中村匡志
森脇登子
菅原史登
大西和幸
白石沙織
林祥子
伊佐千代子
杉澤悠希
矢島智穗
古城祐佳
大槻翔佳
高垣恭子
石川陽子
門田弘子
老田紀子

下笠実咲
伊藤佐智子
木戸巳貴
上司かのん
廣田直俊
島崎里美
中野優子
祐岡隆照
祐岡舞衣
豊永紀子
伊藤智宣
辻森萌

令和6年1月
かざぐるま
保護者の会 ふうしゃの会
会長 落合さゆり
高岡千恵子
金美英
小森康志
宮島美江子
酒井貞宗
石田久美子
堀川晃弘
田中豊有美
山下真知子
清島典子
宮北理知
平田真一郎
松本直大
森田洋子
金折誠

寄附合計 八〇八〇、〇〇〇円
(令和6年1月23日現在)

ご支援ありがとうございました

祝 受章

瑞宝双光章

法人 監事
上森 健康 さん

瑞宝单光章

いこま乳児保育園
主任 保育士
小田 朝美 さん
いこまこども園
保育 教諭
上嶋 智子 さん

令和5年度秋の叙勲に際し、法人より3名の皆様が叙勲受章の榮譽に浴されました。ここに受章された皆様や喜びの声をご紹介し、法人役職員一同心からお祝い申し上げます。



受章の喜びを述べられる上森監事

上森監事と事業団

1972年に奈良県庁に入職。その後県庁内の各部署に配属され、2002年6月には奈良県立医科大学事務局長に栄転され2年間奈良県の医療行政の最先端の現場を担う医大の事務局長として活躍されました。

2004年には本庁に復帰、奈良県福祉部長兼こども家庭局長として県福祉行政のトップとして手腕を発揮されました。我が法人傘下の施設はいろんな意味で直接お世話になったのです。

この頃の我が法人の事業を振り返ってみますと、2004年愛染寮のあすなろ館を使って児童デイサービス「こども支援センターあすなろ」を翌年には「オーブ

ンスペースあすなろ」の事業を開始しています。生駒市の要請を受けて市内初の児童発達支援事業でしたがその背景には地域で子どもの療育活動を進めようという県の姿勢がありました。2006年には発達障害者支援法の施行に伴い県から奈良県発達障害者支援センターの受託事業が奈良仔鹿園で始まりました。また国の高齢者の在宅福祉サービス強化の要になる地域包括支援センター設置要項が定まり生駒市においても生駒市地域包括支援センターが設置されることになり、桃李館での「生駒市梅寿荘地域包括支援センター」がスタートしました。

この頃生駒市の医療にとつては生駒市総合病院が経営不振と地域医療計画の病床再編の問題から一時的に病院がなくなるといふ大問題が起りました。そのため、病院の敷地建物は売却され今ではマンションになっていきます。また病院の看護婦宿舎として使われていたあずさ寮という名称の建物も不要となりました。この敷地は梅寿荘診療所の管理医師を勤めていただいで

いた総合病院の元院長、井上先生のお父様が病院のために寄贈された土地でしたのでその意図を引き継ぎなんとか活用を図りたいと所有者である奈良県国保連合会に払い下げを申し込んだのです。その仲介を取っていたのが上森福祉部長でした。2009年には改修を終えた「総合支援センターあずさ」が完成。地域小規模児童養護施設「愛染寮あずさ」、児童デイサービス「あすなろあずさ」「包括支援センター」、ヘルパーステーション「はあとぼーと」の複合施設が地域を支える拠点になっていきます。

2008年に県庁を退職された後、奈良県信用保証協会会長にご就任されておられました。こうした社会福祉事業への高い見識を我が法人の事業に活かしていただきたいとお願ひし、2014年1月から法人監事にご就任いただき現在にいたっています。



(記) 辻村 泰範

「皆様に感謝」



いこま乳児保育園
主任保育士
小田 朝美

この度、「瑞宝単光章」という名誉ある賞をいただきました。お知らせをいただいた時は、私なんか：という戸惑いの方が大きく信じられない思いでした。伝達式・皇居での拝謁と進んでいくうちに、だんだんと喜びがこみ上げてきました。宝山寺福祉事業団にお世話になり42年、はじめは極楽坊保育園に勤めさせていただきました。学校を出たばかりで何もわからないうちに指導して下さった園長先生はじめ先輩の先生方、子ども二人を育てながらの仕事との両立に悩んだ時一緒に励まし合ってきた同僚の先生方、みなさんに支えられ毎日を過ごしていました。その後、乳児保育園に異動になり、環境やそれによる保育の違いなどでこのまま続けていけるだろうかと思っていた日々もありましたが、温かく



迎えて下さり不安な気持ちを受け止め励まして下さった乳児保育園の先生方のおかげでここまで長く仕事を続けられ、このようなご褒美をいただくことができました。本当にすべての方々へ感謝申し上げます。そして、私を保育士の道に進ませてくれた今は亡き両親、応援し支えてくれた家族にも感謝です。

この感謝の気持ちと受賞の重さを今一度胸に刻んで、毎日の保育の中で子どもたちの思いをしっかりと受け止め、またはじめての子育てで不安を持っておられる保護者の方の気持ちに寄り添いながら残りの日々を歩んで行きたいと思えます。ありがとうございます。



「感謝」



いこまこども園
保育教諭
上嶋 智子

この度、思いがけなく過分なご褒美をいただきました。昨年秋季園長先生から叙勲のお知らせをいただいた時、言葉は耳には入るものの理解できず、返事もままならない状態でした。勲章をいただけるような仕事が出来ていたのか：と戸惑いが大きく、信じられない思いでした。それでも時は流れ、11月に県庁での伝達式で賞状と勲章をいただき、皇居での拝謁となりました。皆さんに祝賀会もしていただき、日が経つにつれていただいた勲章の重みと有難味そしてうれしさが実感できるようになってきました。

私が保育教諭として勤めさせていただいているのは、極楽坊保育園での実習がきっかけでした。いこま保育園の保育士としてお世話になり、その後極楽坊保育園・いこ

まこども園と転勤し、今に至ります。体力だけが取り得で、人前で話すのが苦手、両親からは「ガキ大将」友だちからは「どっちが子どもかわからない」と言われていましたが、先輩の先生方にたくさん事を教えていただき、先輩の先生からは新しい情報や元気をもらい、たくさんの方々から励まし支えていただきました。出会った子どもたちにもたくさん事を教わりました。至らない所の多い私ですが、保護者の方々にも温かく見守りお付き合いたいできました。仕事を続ける事に悩み迷った時期もありましたが、法人の先輩方や母の言葉が支えになり、頑張ってみようと思えるようになりました。素敵なご縁をいただき、周りの皆様のおかげで今まで勤め続ける事ができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちの笑顔に囲まれ、毎日楽しく保育することが出来、宝山寺福祉事業団の一員になれたしあわせを実感しています。今回の受章に責任と感謝を忘れず、ご恩返しをしていけるよう、子どもや保護者に寄り添い、またこれからは他の人の支えになれるよう励んでいきたいと思えます。ありがとうございます。

表彰

令和5年度 法人永年勤続表彰

50年

梅寿荘

施設長 辻村 泰範

40年

延寿

施設長 井上 太

35年

仔鹿園

事務・栄養士 新谷 由里

極楽坊あすかこども園

副主幹保育教諭 中 美恵

25年

養護老人ホーム梅寿荘

施設長 森本 公子

梅寿荘地域包括支援センター

施設長 岩井 香奈子

20年

いこま乳児院

保育士 窪田 多貴子

特別養護老人ホーム梅寿荘

主任調理師 窪田 洋平

養護老人ホーム梅寿荘

主任支援員 植田 昌樹

20年

養護老人ホーム梅寿荘

支援員 吉村 智子

極楽坊あすかこども園

保育教諭 奥田 香織

極楽坊あすかこども園

保育教諭 伊佐 千代子

はあとぽーと延寿

主任サービスマネージャー 玉利 美保

はあとぽーと延寿

ヘルパー 石井 恵

居宅介護支援センター延寿

介護支援専門員 長岡 時喜子

デイセンター延寿

介護職員 菅尾 良博

表彰受賞

全国レベル表彰受賞

瑞宝双光章

法人監事 上森 健廣

瑞宝単光章

いこま乳児保育園 主任保育士 小田 朝美

いこまこども園

保育教諭 上嶋 智子

全国レベル表彰受賞

厚生労働大臣表彰

極楽坊あすかこども園 保育教諭 矢島 智穂

デイセンター延寿 管理栄養士 半田 恵美子

内閣府特命担当大臣表彰

極楽坊あすかこども園 保育教諭 林 正子

全国社会福祉協議会会長表彰

あくなみ苑 施設長 田中 将史

いこま乳児保育園 長 喜多 由希子

全国老人福祉施設協議会会長表彰

はあとぽーと延寿 主任サービスマネージャー 玉利 美保

はあとぽーと延寿 ヘルパー 石井 恵

全国老人福祉施設協議会会長表彰

いこま乳児保育園 主任保育士 原田 愛子

いこま乳児保育園 主任保育士 中野 公美子

全国老人福祉施設協議会会長表彰

あすかの保育園 長 小林 美香

あすかの保育園 保育士 原田 愛子

いこま乳児保育園 栄養士 中野 公美子

はあとぽーと延寿 ヘルパー 石井 恵

いこま乳児保育園 主任保育士 小田 朝美

いこまこども園 保育教諭 上嶋 智子

全国老人福祉施設協議会会長表彰

居宅介護支援センター延寿 介護支援専門員 長岡 時喜子

デイセンター延寿 介護職員 菅尾 良博

特別養護老人ホーム梅寿荘 主任調理師 窪田 洋平

養護老人ホーム梅寿荘 主任支援員 植田 昌樹

全国乳児福祉協議会会長表彰

いこま乳児院 保育士 江頭 唯

いこま乳児院 調理師 中西 陽子

全国保育協会会長表彰

あすかの保育園 長 小林 美香

あすかの保育園 保育士 原田 愛子

いこま乳児保育園 栄養士 中野 公美子

はあとぽーと延寿 ヘルパー 石井 恵

いこま乳児保育園 主任保育士 小田 朝美

いこまこども園 保育教諭 上嶋 智子

いこま乳児保育園 主任保育士 小田 朝美

いこまこども園 保育教諭 上嶋 智子

いこま乳児保育園 主任保育士 小田 朝美

いこまこども園 保育教諭 上嶋 智子

いこま乳児保育園 主任保育士 小田 朝美

いこまこども園 保育教諭 上嶋 智子

いこま乳児保育園 主任保育士 小田 朝美

いこまこども園 保育教諭 上嶋 智子

いこま乳児保育園 主任保育士 小田 朝美

いこまこども園 保育教諭 上嶋 智子

いこま乳児保育園 主任保育士 小田 朝美

いこまこども園 保育教諭 上嶋 智子

編集後記

コロナ禍も明けたことだし来年は展望が開けた良い年になるようにと願って年を越し、元日には施設の皆様とお屠蘇でお祝いをして、穏やかな午後を迎えていましたが、まさかこんな大きな地震に見舞われるとは思いませんでした。どうかもうこれ以上、被害がでないように願うばかりです。法人施設からも慌ただしく職員が応援派遣として石川県に入りました。被害に遭われた皆様に心からのお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。へ森本